



からこかぎ

創刊号
平成24年
6月1日

会報創刊にあたって
文化財保存課長

藤田 三郎

就任のごあいさつ

会長 梅野 満雄

会長に就任しました、梅野満雄です。

「唐古・鎌遺跡の保存と活用を支援する会」(愛称:「唐古・鎌支援隊」)の会長の大役をお受けするにあたり、その責任の重さを考えると、まさに身の引き締まる思いで一杯です。

本会の設立から、8年間、その礎を築いていただいた諸先輩の功績を無にしないように頑張りますので、皆様方のご協力・ご支援をお願いします。

支援する会については、会員数の減少は大変気になります。活動内容や実績については年々充実していると自負しています。これも、ひとえに、会員の皆様方の唐古・鎌遺跡に対する熱い思いの賜であると感謝しています。

本年度より、唐古・鎌遺跡に

ついでより深く学ぶ活動である弥生勉強会やものづくり教室などを実施します。そして、それらの活動により多くの会員の皆様に参加いただけるよう運営方法等を改善していきます。是非、諸活動にご参加いただくことをお願いします。併せて、私自身、本会の設立目的であり、また、「唐古・鎌遺跡」の歴史、文化等に理解と愛着を深めるとともに、その保存と活用を支援すること、忘れることなく、田原本町で暮らす子どもたちに「唐古・鎌遺跡」に誇りや親しみをもてるような取り組みも、さらに充実させていきたいとも考えています。

最後に、会員の皆様の一層のご協力・ご支援を重ねてお願いし、就任のごあいさつとさせていただきます。



このたび、「唐古・鎌遺跡の保存と活用を支援する会」の会報が創刊されますことをお喜び申し上げます。

貴会は、その名の通り、唐古・鎌遺跡を支援・応援するボランティア団体として、常日頃から唐古・鎌遺跡をはじめとする文化財活動に対して惜しみないご協力をいただいております。私ども行政の一員にとってかけがえのない存在になっております。まずは、厚くお礼申し上げます。

思い返しますと、平成16年4月16日にこの会を立ち上げていただき、すでに9年目を迎えました。この8年間の活動は、唐古・鎌考古学ミュージアムの館内ガイドに始まり、遺跡ガイド、さまざまな体験学習、イベント、学校支援と実に多様で、まさにこの団体の名のとおりの実績をあげてこられたと思っております。

今回、このような会報が発行

されることによって、これまで実践されてきた活動がより多くの人に周知されるとともに、会報が単なる活動記録だけでなく、支援隊のさまざまな取り組みや情報提供なども披露されていくだろうと期待しております。

活動のなかでは、既に定着した小学校における唐古・鎌遺跡を利用した体験学習、総合的な学習は、奈良県内でも先駆的であり、支援隊のみなさんがその骨格を作られたと言えるでしょう。

平成16年に総合的な学習の時間で学んだ子どもたちは既に20歳を迎えており、今後、郷土愛をもった青年が本町からどんどん育っていくことが楽しみになっております。

また、昨年の12月からは唐古・鎌遺跡をさらに深く知るための取り組みとして弥生勉強会も始まっていますし、唐古・鎌遺跡の史跡公園整備のなかで、今後、この公園を活用したプログラムも支援隊のみなさんが中心になって進められていくことになると思います。これから支援隊の存在価値は、益々、高いものになっていくと大変期待しているところです。

ものづくり教室

山本 淳史

「ものづくり教室」が「古代ものづくり体験」へ変身しました。

従来の「ものづくり教室」は総合学習の道具製作と改良、修理及び補充を主目的として活動してきました。最近では、これまでの努力で完成度の高い火おこし道具が揃い、簡易な部品交換で維持が可能となりました。また勾玉石材の加工も短時間で大量につくることができるようになり、その結果、活動時間に余裕が生まれてきました。

昨年の夏ごろより、このゆとりの時間を利用して、試みに「古代ものづくり体験」を企画実施してきました。その結果、毎回8名以上の方々の参加をえられたことで、今年も昨年好評だった「外部勉強会」をメニューに含めた「大人の古代ものづくり体験」を企画しました。勿論、従来の学校支援活動、遺跡清掃そして恒例のしめ縄作りは継続して行います。

現在のメンバー全員がチャレンジャーです、あなたもものづくりの達成感を味わってみませ

んか。毎月第2・第4水曜日10時から開催しています。新規参加者大歓迎です、ボランティア室の黒板に氏名と連絡先を御記入ください。



脱穀



土器作り

小学校総合学習の支援

今西 和代

小学校6年生の社会科では、日本の歴史を学習します。教科書を開いてみると、『地域の歴史をさぐる』という単元が最初のページに掲載されています。田原本町には北小学校の校区に『唐古・鍵遺跡』があり、プール建設時の発掘での土器片に描かれた『楼閣』の絵がもととなり、復元楼閣が唐古池にそびえ立っています。子供たちは、とても恵まれた環境にあります。

また、6年生の総合的な学習の時間では、地域の歴史の探求だけでなく、体験してみようという取り組みが5校の小学校で始まりました。

内容は『唐古・鍵考古学ミュージアムの見学』『勾玉づくり』『脱穀・火燂し土器での赤米炊飯』『土器作り』『土器の野焼き』などです。各学校によって内容はまちまちですが、町教委文化財課の職員の方々といっしょに支援する会のメンバーが学校に向いて体験活動をしています。その取り組みの中で児童たちから『2000年前の人

たちは火を熾すのにも大変やったんやなあ』と弥生時代の人たちが生活する苦労が分かり、またすごい知恵や技術があつてんな』などの感想が寄せられています。

また毎年2月頃には、田原本青垣生涯学習センターで、学習した作品や新聞を作ったの発表展示会を行って、総合学習の成果のまとめとしています。この取り組みは7年前からですが、子供たちにはふるさとの歴史体験を通して大切に思う心や誇りをもってもらいたいと思っています。



弥生勉強会

小林 恒雄

支援する会は唐古・鍵遺跡を愛する会員によって、各種のボランティア活動を行ってきましました。こうした中、新たに会員の方々の知的満足度を得られる活動として、唐古・鍵遺跡が存在した弥生時代をもっと勉強をしようとする「弥生勉強会」が昨年秋より始まりました。

勉強会は藤田三郎先生をアドバイザー、講師としてお願いし、奈良盆地の弥生期の遺跡について資料による事前勉強会及び現地遺跡見学会を行っています。

まず始まりとして、奈良盆地の弥生時代の拠点集落について、昨年12月には平等坊・岩室遺跡を、今年3月には唐古・鍵遺跡の南に位置する保津・宮古遺跡、多遺跡を訪問し、更に6月3日には、盆地南部の拠点集落である鴨都波遺跡と京奈和道路建設により新たに発掘された中西遺跡、秋津遺跡などを訪ねます。

今後は、これら拠点集落と唐古・鍵遺跡の関係も学び、ミュージアムの企画展に合わせた遺跡訪問なども企画したいと思

ます。また、今回は、坪井・大福遺跡や芝遺跡を計画しています。

どうぞ勉強会にご参加頂き、稲作が始まった弥生時代について学び、皆様でご意見を交わしていただきたいと思います。



第一回現地勉強会



第2回現地勉強会

ボランティアガイド

井上 知章

唐古・鍵考古学ミュージアムでのボランティアガイドは、会規約第3条「事業」の項の冒頭に明記されているとおり、支援する会の重要な活動と位置付け、開館以来ガイド活動に積極的に取り組んでいます。

平成22年度の唐古・鍵考古学ミュージアムの入場者は、8775名でした。昨年もほぼ例年規模の入場者数だと思われ、田原本町教育委員会が発行している「文化財調査年報20」に報告されているアンケート結果を見ますと、唐古・鍵考古学ミュージアムの入場者について、3点の特徴を見ることができました。

一つは、入館者にはリピーターが多く、27%を占め、それも2回よりも3回の以上の人の数が2倍になるなどその割合が高いということ。更に一つは奈良県の在住者以外の人が70%近くを占め、県外者の割合が高いということ(前年度は、50%)。そして、最後に、その入場者の47%の人がボランティア

ガイドの案内を希望しガイドサービスを受けた(実数3484人)ということ。です。

それらは、他の博物館に見られない唐古・鍵考古学ミュージアム特有のことだと思えます。その理由は、簡単に見つけることができます。

それは、入館の方々は、弥生文化の探求という明確な目的意識を持って来館されているということ。それは、来館目的のアンケート結果によると、70%の方が「他に行ったついでの見学でない」との回答に表れています。実際に、市井の研究者のみならず弥生文化を専攻する学生、研究者が唐古・鍵遺跡の遺構、遺物を実見するため、全国各地より多数来館してくれています。

私たちは、熱心に頑張っているらっしゃる非会員のガイドの方々と一緒に、より多くの人に唐古・鍵遺跡を中心とした弥生文化に親しんでもらい、その知見を深めてもらうため、今年度もボランティアガイドを積極的に行います。

そのために、支援する会の会員一人ひとりが、さらには弥生



遺跡ガイド



ミュージアムガイド

勉強会やものづくり教室を通じ、弥生文化の理解を深めたいと思っています。そして、多くの来場の方々に、「展示遺物、遺跡が理解できた。また、来てみたい。」という思いを持っていただけるよう努力したいと考えております。

遺跡の清掃活動

大森 初美

国道24号線から望め、幻想的に凍として建つ楼閣を目指して、遠方より大勢の考古学ファンが唐古・鍵遺跡を訪れております。

私たちは、少しでもよい遺跡環境のもとで、幽玄の弥生ロマンを満喫していただければと思います。唐古池周辺を中心として、遺跡清掃活動をおこなっております。

昨年は、12月14日に、次いで今年に入り3月28日に清掃活動に取り組みました。

唐古・鍵遺跡の清掃は、「唐古・鍵遺跡の保存と活用を支援する会」だけでなく、地元の北小学校の児童や地域自治会の方々も熱心に行っておられます。私たちは、地域の皆さんと一緒に、今後も定期的にこの活動を続けていきたいと思っています。

今年度も年2回の活動を予定しております。実施に当たっては、事前に「からこかき」にてご案内いたします。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

親睦会活動

ペン画教室

竹村 正幹



遺跡清掃活動

支援する会の親睦活動の一環として、昨年より「ペン画教室」を開催しています。昨年は、6名の参加がありました。

油絵は、絵の具の厚みの変化で重量感を表し造形美を構成します。ところが、ペン画は、身近な風景をペンのみで一枚の絵画に仕上げます。

ペン画の特徴は、写実性を重視するところですが、写真と異なり建物など一点に焦点をあて、他を抽象化することにより主題をより顕在化させます。さらに、

点と線の緊張と緩和で陰影をつけることにより、奥行きを持った立体感を構成するところに、その面白さがあります。今年も秋ごろに2回ほどペン画教室の開催を予定しています。画題は、深まった秋の奈良の社寺を考えています。是非、多くの方のご参加をお願いいたします。



楼閣ペン画

注連縄づくり

川端 優秀

弥生時代には、注連縄らしきものはあったのでしょうか。

支援する会の親睦活動の一環として2008年12月から年末に「注連縄づくり」をいたします。昨年も25名の申し込みが

あり、12月25日に実施いたしました。

注連縄が、最初に歴史に登場してくるのは、古事記上つ巻での「天照大御神の天の石屋戸こもり」で、「尻組め縄」(縄を張って聖域であることを示し、出入りを禁じた)が起源といわれています。

因みに、弥生文化では、弥生期の農耕の生産力を考えるときに藁(わら)の痕跡が重要な遺物となります。唐古・鍵考古ミュージアムには、弥生前期の「穂束」が展示してあります。その穂束には、穂先のみで、石包丁などの穂積具を使用して、「根刈り」でなく穂先を切っておりま

す。弥生時代前期では、注連縄作りの材料の藁(わら)はなく、イネはその穂先を束ねて、高床倉庫などに保管していたことが、その展示により分かります。

に求める考えがあります。その後、中世、近世そして現在まで藁(わら)は、重要なお祭りの素材として、欠かせないものとなりました。注連縄もそのひとつです。

今年も10月の稲刈り期から準備を始め、藁束を作り乾燥させます。そして、12月26日に注連縄作りをおこないたいと計画しています。

改めてお申し込み等のお知らせをいたします。その際は、多くの方々のご参加をお願いいたします。



注連縄づくり

渉外活動

小林恒雄

支援する会の対外活動として、我が国の代表的な弥生時代の拠点集落である唐古・鍵遺跡をもっともっと多くの方々知って

もらい、訪れていただくことへの思いをもとに、奈良県の各地域のボランティア団体の集まりである「奈良県観光ボランティアガイド連絡会」と大阪・奈良地域のボランティア団体である「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク」に参加しています。

ガイド連絡会では県観光課主催の研修会を唐古で開催し、地域のボランティア活動の現状と問題点なども話合ってきました。

また、歴史街道リレーウォークでは、第一回の活動を大阪の難波宮からスタートし無事に城遷都1300年祭の会場である平城京に集まりウォーク完了となりました。

次いで、第二回ウォークとして今度は平城京から遣唐使船が出航していった大阪住吉に向けてウォークを行っております。

4月1日には田原本町の観光ボランティアガイドの会である「磯城のみち」と共に「田原本の町並みと唐古・鍵遺跡」のウォークを、各地から250名以上の参加をいただきました。

このように奈良県、関西、日本全国の方々に唐古・鍵遺跡を知っていただく活動を行って

ます。皆様もこの活動にご参加をお願いいたします。



奈良県ボランティアガイド研修会



大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

リレーウォーク

事務局からのお知らせ

☆ 平成24年度「唐古・鎌遺跡の保存と活用を支援する会」の総会について

例年の通り、4月の第3土曜日（4月21日）に定期総会が開催されました。前年度の活動報告、新年度事業運営方針、実施計画及び予算が承認され、新役員が選任されました。

詳細は、別添定期総会報告と平成24年度運営委員一覧をご覧ください。

☆ 会員証の発行

平成24年度会員証を発行しました。会報「からこかぎ」創刊号と共に届けいたしました。会員の方で、会員証が未到達の方（「からこかぎ」に同封されていない方）は、事務局にご一報ください。

なお、唐古・鎌考古学ミュージアムにご来館の際は、会員証をご提示ください。

☆ 会の専用電話・メール開設

支援する会では新たに会員の皆様との連絡のために専用の電話とメールを開設いたしました。

電話番号

:090-9257-3688

メールアドレス

karakokagijimukyoku@swan.ocn.ne.jp

☆ 会の活動参加

支援する会では本年度もボランティア活動をはじめ各種の活動を行っております。会員の皆様も是非これらの活動にご参加ください。

尚、諸活動のお問い合わせは、事務局または運営委員がお受けいたしますので、お気軽にご連絡ください。

☆ 会員数

平成24年4月21日現在の会員数は37名です。

編集後記

この度、新たに会員の皆様に、支援する会の各種活動や、ミュージアムのイベントをご案内し、会員の方々の積極的な活動への参加をお願いする会報を、年4回程度発行することにしました。改めて8年間の支援する会の活動を見ると、会員皆様が多くの活動を行って会を支えてきたことに驚きを感じました。

また、皆様お忙しい中、快く会報に活動の紹介記事を書くこととお引受け頂き感謝いたしております。

特に川原様には会報題字を、又、竹村様にはイラストをお書きいただきました。ありがとうございました。

編集委員

井上知章 植田洋高
大森初美 小林恒雄
福島道昭

会員募集

☆ 会では趣旨にご賛同いただく方の会員募集を行っております。お知合いもお誘いの上活動にご参加ください。

☆ 年会費 2,000円

唐古・鎌遺跡の保存と活用を支援する会

〒636-0247

奈良県磯城郡田原本町阪手 233-1

田原本青垣生涯学習センター

唐古・鎌考古学ミュージアム内

TEL:090-9257-3688

Email:karakokagijimukyoku@swan.ocn.ne.jp

☆ 平成 24 年度運営委員一覧

会 長	梅野 満雄			
副会長	—			
運営委員	植田 洋高	川原 忠美	小林 新	
	小林 恒雄	山本 淳史	今西 和代	
	川端 優秀	竹村 正幹	福島 道昭	
	谷口 敬子			
事務局兼務	井上 知章	大森 初美		
会計兼務	服部 文子			
会計監査	池辺 繁昭			
アドバイザー	藤田 三郎	中尾 澄子 (行政職員)		

☆ 定期総会報告

1 新年度の運営について

昨年までの浦田廣志さんに代わって、梅野満雄さんが会長に選任されました。また、新たに、川端優秀さん、竹村正幹さん、福島道昭さん、谷口敬子さん 4 名が運営委員に選任されました。従いまして、昨年度より運営委員が 4 名増員されました。

選出された運営委員全員は、次に掲げる総合学習をはじめとした重点事業を分担し、支援する会の事業の運営にあたります。

2 平成 24 年度事業運営について

従前からの活動は、小学校の総合学習を中心としたものでした。今年度から唐古・鍵遺跡の保存と活用を支援する会の規約第 3 条に明記されている次の活動を重点事業として実施することになりました。

- ① ミュージアムガイド活動
- ② ものづくり教室活動 (考古体験学習活動)
- ③ 弥生勉強会 (奈良県弥生遺跡等に係わる勉強会)
- ④ 唐古・鍵遺跡清掃活動
- ⑤ 学校支援活動 (総合学習の支援活動)
- ⑥ 積極的な広報活動
- ⑦ 親睦活動

以上の活動を積極的に実施することにより、唐古・鍵遺跡の保存と活用に係わる支援事業の充実を図ります。

★ ものづくり教室年間予定表

平成24年6月1日現在

24年・ものづくり教室予定		23年・ものづくり教室活動内容		
日時	内容	日時	内容	人数
4月	お休み	6月～8月	石鏃・石包丁製作	7
5月9日	金印づくり	10月7日	稲穂苅り	8
5月23日	総合学習支援	12月14日	遺跡清掃	10
6月13日	奈良晒し課外学習	12月25日	しめ縄作り	20
6月27日	カラムシ採取	1月11日	脱穀	8
7月11日	糸づくり	1月25日	炊飯	8
7月24～27日	土器づくり	2月9日	奈文研課外学習	12
8月8日	藍染め	2月22日	紡錘車・糸撚り	7
8月22日	古代機織り	3月11日	田能遺跡課外学習	7
9月12日	吉野川石材採取			
9月26日	石器づくり			
10月10日	稲穂苅体験			
10月24日	団栗採取・ペン画			
11月14日	古代機織り			
11月28日	ペン画			
12月12日	遺跡清掃団栗クッキー			
12月26日	しめ縄づくり			

★ 弥生勉強会の予定

- 第3回弥生勉強会 6月3日 鴨都波遺跡、中西遺跡外
 第4回弥生勉強会 10月中旬 坪井・大福遺跡、芝遺跡外（予定）
 第5回弥生勉強会 12月中旬 唐古・鍵遺跡外（予定）
 第6回弥生勉強会 未定

★ 総合学習等の予定

- (1) 一学期・・・5月・6月・7月
 ・学校名 北・田原本・南・平野・東小学校
 ・内容 火燻し、炊飯、脱穀、土器づくり、勾玉づくり
- (2) 二学期・・・10月・11月
 ・学校名 北・南・平野小学校
 ・内容 火燻し、炊飯、土器づくり、野焼き
- (3) 展示会・・・2月7日～13日（12日除く）